

手外科シリーズ

2.ドケルバン病(狭窄性腱鞘炎)



監修
一般社団法人
日本手外科学会広報委員会

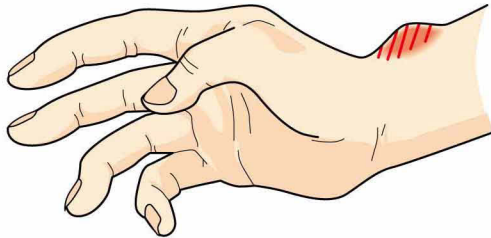


制作
エーザイ株式会社

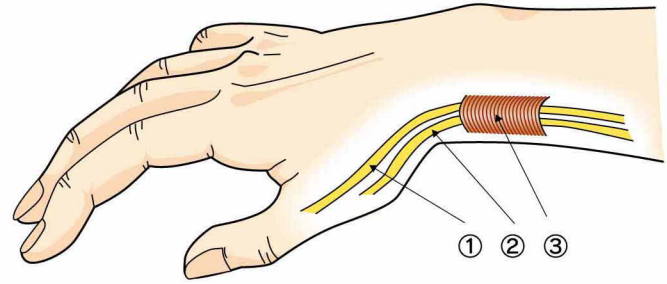
2

ドケルバン病 (狭窄性腱鞘炎)

● 症状 ●

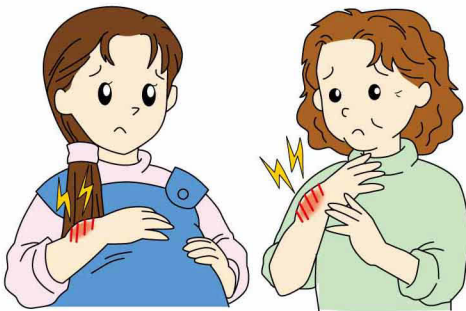


手首の母指側に腫れと痛みが生じます。母指には幾つかの腱がついていますが、右図に示す二本が手首の母指側にある腱鞘の部分で炎症を起こして腱の動きがスムーズでなくなります。



- ① たんぼ しんきんけん **短母指伸筋腱** 主に母指を伸ばす働きをする腱です。
- ② ちようぼ しがつてんきんけん **長母指外転筋腱** 主に母指を広げる働きをする腱です。
- ③ けんきよう **腱鞘** ①と②の腱が通るトンネルです。

● 原因 ●



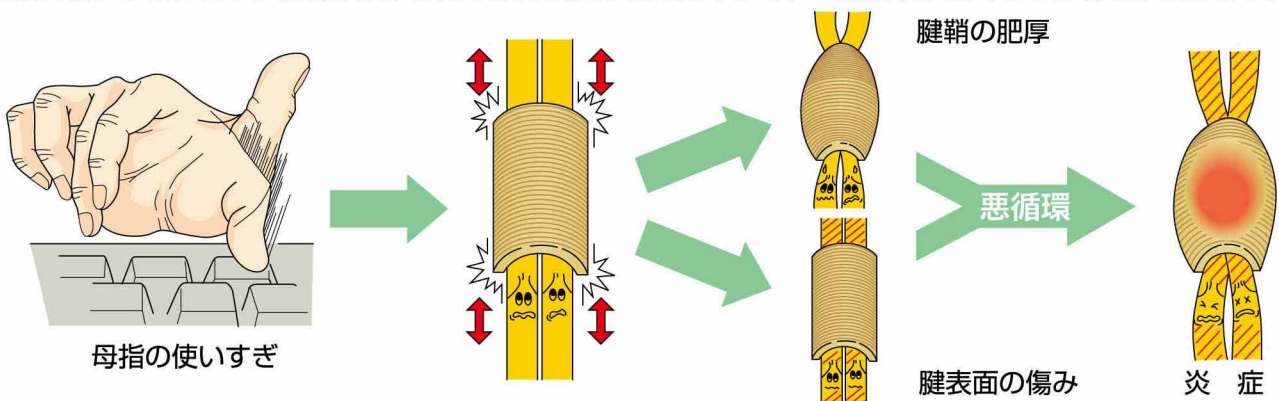
妊娠時、産後や更年期の女性に起こることが多く、



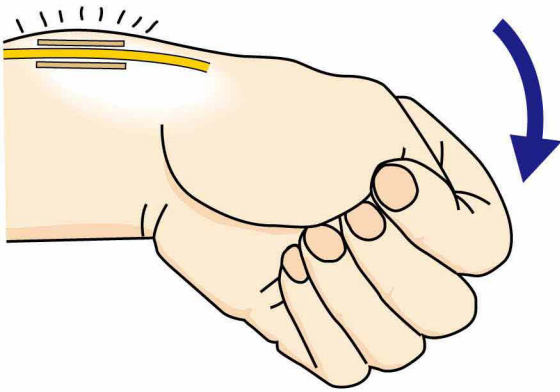
スポーツマンや指をよく使う仕事の人にも見られます。

● 病態 ●

母指の使いすぎにより、腱鞘が肥厚したり腱の表面が傷んだりして、一層症状が強くなる悪循環が生じます。



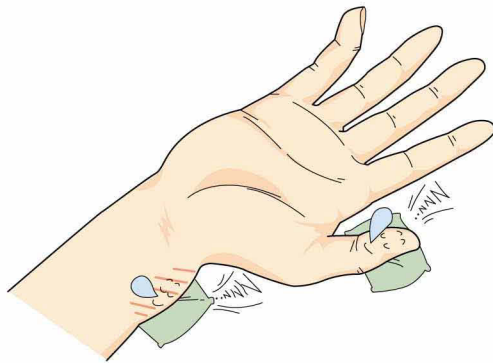
● 診断 ●



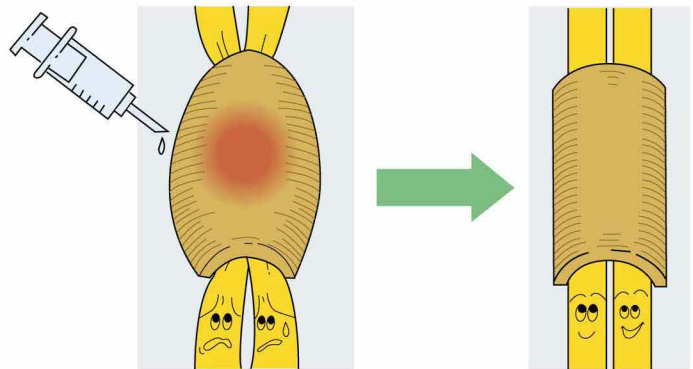
母指を内側に入れて握りこぶしを作り、手首を小指側に曲げると痛みが生じます。

● 治療 ●

①保存療法：最初に行う治療です。次のような方法が主なものです。



(1) 局所の安静で刺激を少なくしましょう。
湿布をしたり、装具を当てて固定する事もあります。



(2) 腱鞘内に局麻剤入りステロイド注射をして、炎症、痛み、腫れを抑えます。

②手術療法：保存治療で治らないときに
行います。



腱鞘を切離し、
腱を開放します。